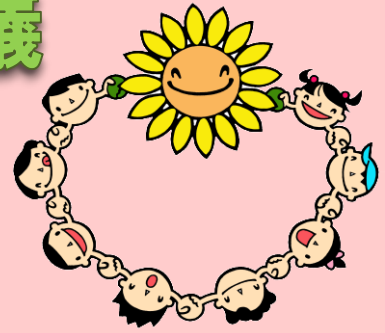


我が家の防災会議

万一の災害に備えて、子供や高齢者が助けを求めることが出来るよう、家庭で十分話し合ってください。子供のいる世帯では、通学路などを実際に歩き、大きな災害が起きた時の事を想像しながら「地域の安全」を確認しておきましょう。家族の話し合いでは、お母さん・お父さん・おじいちゃん・おばあちゃん、そして子供たちの意見を反映し、共通認識を持ちましょう。



**亘理地区まちづくり協議会
生活安全部会**

平成28年10月1日発行
発行責任者 鈴木 光範
連絡先 0223-34-8583

■ 家族で話し合った内容

■ もしもの時の連絡は	
■ もしものときに家族が集まる場所は	
■ もしもの時の避難場所は	
■ もしもの時の持ち物は	

■ 家族や親類の電話番号

家族のでんわ	☎	☎
	☎	☎
	☎	☎
家族に伝えられない時	()さんの☎	
	()さんの☎	
	()さんの☎	

■ 電話が使えないときの連絡方法

※例…家の門に伝言を書いておく

■	
■	
■	

緊急時に町から色々な情報配信が届くようにメールアドレスを登録しておく

「ansin-watari@wbi.jp」のアドレスを携帯電話に入力し、件名・本名を入れない空メールを送信してください。携帯電話にQRコードの読み機能がある場合は、左のQRコードを読み取るとアドレスが表示され入力する手間が省けます。



防災安全情報



町からのお知らせ



子育て支援情報メール

巨理町の防災倉庫の内容

■平成28年6月12日（日）巨理町総合防災訓練の中で巨理地区まちづくり協議会生活安全部会では、災害時最終避難場所になる巨理小学校の備蓄倉庫の内容を確認させて頂きました。

今回の調査の結果、下記の表の通りの備蓄がされていました。1500人が避難出来る巨理小学校ですが、200人分程度の備蓄内容で、飲み水も食べ物等は含まれていませんでした。

理由として、町で多くの備蓄を維持するにも『予算がたくさんかかる』『備蓄する場所が無い』などの問題があり、避難出来る人数に対して十分な備蓄では無いという事がわかりました。

東日本大震災から5年が過ぎましたが、いつ何時また大きな災害が起こるかわかりません。『我が家の防災会議』を開いて、備蓄についても皆で考え備えておきましょう。

備蓄物品等一覧

箇所名	巨理小学校 体育館内 『器具庫C』			
物品名	商品名等	規格等	数量	備考
水（生活用水）	いろはす	520ml * 24本入	32	
水（生活用水）	CRYSTAL GEYSER	500ml * 30本入	2	
毛布（真空）	日赤	10枚入	6	
毛布（真空）	その他	10枚入	36	
タオル（真空）		50枚入	4	
ブルーシート			多数	
マット	日赤		63	
マット	Captain Stag	20枚入	15	
ウォータータンク		20ℓ	15	
発電機（未使用）	WAKITA		1	
発電機（使用済）	WAKITA		1	
ガソリン携行缶			2	
簡易トイレ便座			多数	
簡易トイレ便袋			多数	
ヘルメット			2	
ランタン		電池入	6	
固形燃料			多数	
BOXティッシュ	クリネックス	5箱入	12	
マスク	サージカルマスク	50枚入 * 12パック入	4	
耳栓			多数	
ペットケージ		折りたたみ式	1	
コードリール			2	
ハンドマイク			3	
防災伝言シート		ロール ホワイトボード様	4	
避難所開設キット			2	
文房具			多数	
ゴミ袋			多数	

巨理小学校体育館にある備蓄倉庫内



↓ 日本赤十字の防災倉庫も寄贈されています



宮城県	50人モデル	100人モデル	300人モデル	ソーラー蓄電	浄水器
七ヶ浜町	0	7	0	7	1
巨理町	0	3	6	5	5
南三陸町	0	0	3	3	3

備えがあれば安心

停電！？

オール電化の家が多くなってきているので、電気が無くても暖が取れたり、短時間で料理が出来るようなものを準備しておく便利です。



(^。^) 火の取り扱いに注意しましょう

レトルト食品



カットバン 包帯



水・食品・薬など

- ・日頃から、近所の井戸、湧水などの位置を確認しておく。
- ・飲み水は一人、1日3リットルとして、3日分を蓄えておく。
- ・お風呂の水はいつもためておく。
(子供などが落ちないように注意をばらう)
- ・賞味期限や使用期限があるので、長い期間保存しておくよりも、定期的に食べたり、使ったりして買い足しておく方が良い。

ナイスアイデア♡

- 重要書類の控え…再発行が出来るように健康保険証・各種保険証書・運転免許証などの番号リストを作る
- 外に常備…非常食や持ち出し品を外の倉庫や車の中に入れておく
- スーツケース…普段空っぽで保管しているキャリー付きのスーツケースに持ち出し品を入れておく
- タンスを固定…支え棒だけでは弱くて危険！チェーンなどを付けて倒れないようにする
- 事前に相談する…保育所・幼稚園に子供が通っている時、先生任せでもなく、保護者任せでもなくお互いに意見を出しあって、震災時の対応を事前に確認しておく
- 近所づきあい…地域とのコミュニケーションを大切に！地域に手助けをしてくれる人を見つけておく

普段から携帯をおすすめする物♡

- 貴重品…印鑑・保険証・免許証・貯金通帳・母子手帳
- お薬手帳…いつもの薬を伝えるため
- アドレス帳…携帯が使えない時のために
- 現金…停電するとカードは使えないため
- パーソナルカード…住所・氏名・連絡先などを書いたカード(身元確認出来る)
- 笛…自分の位置を知らせるため
- 家族写真…家族を探すため
- 筆記用具…ペン・メモ用紙・油性のフェルトペン

■ いざという時の電話番号

① 火災・救急・救助	119 番	落ち着いて
② 緊急伝言ダイヤル	171 番	ガイダンスに従って
③ 東北電力	0120-175-366	突然電気が切れた…切れて下がっている電線を見つけたなど
④ JR東日本	050-2016-1600	(6:00~24:00)
⑤ 亘理町役場	0223-34-1111	

■ いざという時の持ち出し品

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■ 学校や職場、スーパーなどで地震が起きたら

<input type="checkbox"/> 学校で	
<input type="checkbox"/> 通学路で	
<input type="checkbox"/> 職場で	
<input type="checkbox"/> スーパーで	

■ あなたの地域の避難所

<input type="checkbox"/> 一次避難所	
<input type="checkbox"/> 二次避難所	

■ 情報を得るための手段

■ ラジオを準備しておく。普段から聞きなれておく

Date fm	FM 77.1 MHz
NHKラジオ第一放送	AM 891 kHz
東北放送ラジオ	AM 1260 kHz

■ 携帯電話 充電バッテリー 自動車用充電器などを準備しておく

